

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	メリー★ポピンズ 稲城ルーム
施設所在地	東京都稲城市百村1607-3 稲城駅前KMビル2F
法人名	株式会社ゴーエスト

1. 活動のテーマ

<テーマ>

風と紙飛行機

<テーマの設定理由>

折り紙で様々な形の紙飛行機を作っている子が増えた。
室内だけでなく外で思い切り飛ばしてみたい。
いろいろな飛び方、飛距離の出る紙飛行機を子どもたちと研究してみたいと考えたから。

2. 活動スケジュール

令和7年10月～令和8年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

雨の日や午後の活動時間に室内に折り紙コーナーを設置して実施した。
コーナーには日ごとに折り紙や厚紙、画用紙など様々な素材を用意した。
子ども達が飽きずに探求できるよう、紙飛行機を装飾できるような準備も行った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

様々な素材を使用したり、形を工夫したりして紙飛行機を折る。
飛ばし方や風量の調節をし、よく飛ぶ紙飛行機の条件を考える。
よく飛ぶ紙飛行機を作るため、話し合いや振り返りをする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

簡単な折り方の紙飛行機から始め、徐々にパソコンや折り紙の本を調べて様々な折り方を試していった。よく飛ぶ飛行機や面白い飛び方をする飛行機を発見すると、友だちに折り方を教えたり、年下の子に作ってあげたりする様子があった。
得意な子が苦手な子に教えたり、集団で試行錯誤しながら折り方を学んでいる姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段から折り紙で紙飛行機を作っている様子は見られたが、探求することをテーマに環境設定することで、子どもたちが一つのテーマで夢中になって様々なものを生み出す姿が見られた。活動の中で異年齢の関わりも自然に生まれ、子どもたちのコミュニケーションが密になっている姿もあった。

職員間でも普段は安全面から自由に画材や道具を扱える環境にするのは難しいと話しているが、今回のテーマでと取り組みをする中で、子どもたちが自由に表現するための環境設定の重要性に気づき、少しずつ道具や材料を室内環境の中に落とし込むきっかけとなった。